

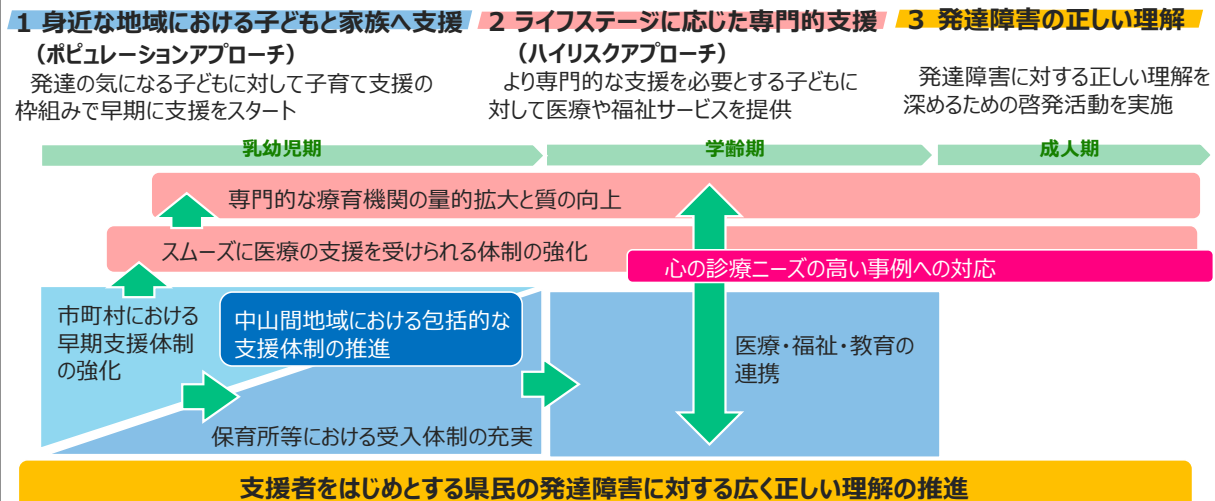
- 【目標値】・健診後のアセスメントの場への専門職（心理職・言語聴覚士等）の関与（R1）18市町村 →（R5）全市町村
 ・児童発達支援センターの設置数（R1）6か所 →（R5）12か所
 ・発達障害の診療を行う医師の増加（R1）25名程度 →（R5）35名程度
 ・発達障害者支援センターにおける情報発信（HPのアクセス数）（R3）220件／月 →（R5）2,500件／月

乳幼児健診で要経過観察となった子どものアセスメントを多職種で行い適切な支援につないでいる。（R5）100%

1 現状と課題

- （現状）** 市町村において、発達が気になる子どもの早期発見の仕組みづくりは一定進んできた
（課題） ・発達が気になる子どもとその家族にとって良いタイミングで子どもに合った支援を受けるためには、専門職の視点を踏まえたつなぎ（インターフェイス）が必要
 ・日常的に関わる保育所等における発達が気になる子どもの受け入れ
- （現状）** 専門的な療育機関の整備は進んできたが、地域偏在がある
（課題） ・身近な地域で専門的な発達支援が受けられるよう、児童発達支援センター等の量的拡大とともに支援の質の向上が必要
 ・民間の専門的な療育機関の参入が見込めない中山間地域では保育所や子育て支援の場を活用した支援体制の構築が必要
- （現状）** 医療機関の受診待機期間は改善傾向
（課題） ・それぞれの子どもと家族に応じた医療機関へのつながりが必要
- （現状）** 発達障害のほか、うつや不登校等、心療ニーズの高い子どもについて通常の支援では対応できない事例がある
（課題） ・地域において必要な支援が受けられる体制の構築が必要

2 今後の取り組みの方向性



3 令和4年度の取り組み

1 身近な地域における子どもと家族への支援

（1）市町村における早期支援体制の強化

- 地域において発達障害児等の早期支援を行う専門職（心理職、言語聴覚士等）の養成
- 乳幼児健診、気になる子どものフォローアップ事業等への専門職による助言等の実施
- 乳幼児健診従事者を対象とした気になる子どもの早期発見のスキルや、保護者へのカウンセリングスキルの向上を図る研修の実施

（2）保育所等における受入体制の充実

- 発達障害の特性や支援方法を学ぶ体系的な研修の実施
- 保育者への特別な支援を必要とする子どもの個別の指導計画作成支援研修の実施【幼保支援課】
- 外部専門家（言語聴覚士・作業療法士等）、親育ち・特別支援保育コーディネーター等による各園への訪問指導の実施【幼保支援課・特別支援教育課】

（3）中山間地域における包括的な支援体制の推進

- 専門職（心理職、言語聴覚士等）による保育所等への訪問支援の充実
- 母子保健と保育所が一体となって発達の気になる子どもと家族を支えるための仕組みづくり（高知ギルバーク発達神経精神医学センターにおけるESSENCEチームの派遣等）

（4）医療・福祉・教育の連携

- つながるノート・引継ぎシート等による進級・進学時の確実な引継【特別支援教育課】
- 巡回相談員の派遣【特別支援教育課】

2 ライフステージに応じた専門的支援

（1）専門的な療育機関の量的拡大と質の向上

- 児童発達支援センターに従事する発達障害支援のスーパーバイザーの養成と活用
- スーパーバイザーによる市町村や保育所等への助言指導を行う体制の整備
- 発達障害の特性や支援方法を学ぶ体系的な研修の実施【再掲】
- 事業所の開設・機能強化やセンター化に向けた整備費用の助成

（2）スムーズに医療の支援を受けられる体制の強化

- 高知ギルバーク発達神経精神医学センターや高知大学医学部寄附講座との連携による専門医師及び心理職等の養成
- 発達障害等の診療ができる県内の小児科、精神科をWebサイトで検索できるように「診療機関マップ」の作成・更新
- 子どもの心の診療ネットワーク事業により心療ニーズの高い事例に対応できる地域連携体制の強化
- 発達障害児者支援地域協議会やワーキンググループにおいて発達障害の診療や支援等のあり方を検討



3 発達障害の正しい理解の推進

- 「世界自閉症啓発デー（4/2）」に合わせたライトアップや啓発イベントなどの実施
- SNSなどを活用した発達障害の理解を深めるための情報発信
- 県立施設などにおいて発達障害のある子どもが利用しやすいセンサーフレンドリーな取組の推進

「アセスメント」…対象者の情報を収集・分析し、起きていることのメカニズムを明らかにすること／「ポピュレーションアプローチ」…集団全体に働きかけ、集団全体のリスク等を軽減すること／「ハイスコアプローチ」…支援の必要性の高い対象者に働きかけ、リスク等を軽減すること／「インターフェイス」…関係機関間のつなぎ／「スーパーバイザー」…支援者に対し、より専門的な立場から助言・指導する者／「センサーフレンドリー」…感覚の過敏さのある人に対して音や光の刺激に配慮した環境を提供すること

